

愛知軍政部月例報告翻訳（その 11）

占領期社会教育史研究会

新海英行 大田高輝 榊原博美 林恭子

愛知軍政部

APO710（名古屋本州）

附属文書 E

月刊軍政活動報告

1947年10月30日までの期間

民間情報教育

1. 教育

a. 10月には、CI&Eは6つの学校を視察し、50の中学校の抜き打ち検査を行った。

b. これらの視察の時に把握された実態をもとに判断すると、愛知県の中学校は嘆かわしい実態である。「特別報告」(10/18/47/CIE/SI/1)には、これらの視察の詳細な報告とこれからの活動方針が述べられている。

c. CI&Eの提案により県職員たちは、中学校の振興のための方法を議論するために、11月11日、12日、及び13日に、県内のすべての中学校長を含む一連の会議を招集した。

d. CI&E担当官は、10月9日、愛知第一師範学校を訪問し、同校の附属小学校の教育実践を観察し、教員養成計画—その中身は、現在のところ、師範学校の学生にとっては主に「観察」である—に示された提案に関して同校の職員たちと協議した。CI&Eは師範学校の附属学校以外の県内の学校における教育実践と教育実習の取り組みやすさについて県の師範学校長及び県職員と話し合っている。

e. 本課は、他領域の活動と連携して教員組合の調査を実施中である。これらの組織が策略によってして学校法を矮小化するつもりでの活動に取り組んでいるとの疑いがあるからである。

この疑いは、豊橋市教員組合と豊橋市長との間で交渉中の「労働契約条例案」を受け取り、より濃厚となった。さらなる調査が、本課の暫定的な結論が間違っていないことを確証すれば、この問題は特別報告の主題となるであろう。

f. 成人教育

- (1) 本課の CI&E 補佐官は、可能な限り県の多くの婦人たちの手に届くように工夫された婦人教育計画の作成に着手した。これに関連する活動は次のとおりである。婦人の社会教育や県内の婦人組織の将来計画及び顕著な実例について協議する愛知県社会教育課の婦人及び児童係の 2 名のチーフとの会議。2,000 名の婦人と児童が出席する岩倉婦人団体の総会への出席・参加。500 名の会員を有する愛知県労働組合婦人部の委員長、副委員長及び 2 名の顧問との会議。及び名古屋の婦人団体の東部団体を組織しつつある 8,000 名を代表する 15 名の婦人との会議。
- (2) 愛知県における婦人のための、また婦人との共同の事業はまだ初期段階にあるので、この時期にはいかなる観察も正しいものとは言えないようである。

g. 青少年団体

- (1) この課の代表者たちは、10 月 1 日に開催された愛知県連合青年団の集会に出席した。この団体は会長によって支配され、無関心であり、明確に定められた目的を持っていないようである。
- (2) 愛知県下の 446 青少年団体の会長名簿は確実に入手されている。CI&E は他の分野の活動と連携し、個々のメンバーとの接触を始めている。

h. CI&E の担当官は 10 月 21 日に春日井市の教員の集会に出席し、1 時間にわたって「合衆国の学校経営」について講話をし、教員たちによって出された質問に答えた。

i. 再編成された日本幼稚園協会の大会は 10 月 24 日に名古屋で開催され、5 つの県の 40 名の幼稚園長が出席した。CI&E の担当官は「幼稚園の役割」について講演し、これにつづく討議にも参加した。

j. この（芸術）運動を激励するために、CI&E の担当官は名古屋大学で開催された名古屋芸術協会の結成会議に出席した。

k. CI&E の担当官は 10 月 19 日に名古屋の学校によって開催された体育大会に出席し、個人的な競技や体操よりも集団的なコンテストや自由な活動をもっと重視する場とすべきだと大会のリーダーたちに助言した。かれらが体育行事の傍観者となることに反対するよう説得した。

l. 教員の適格審査

(1) 愛知適格審査委員会は以下の審査結果を報告した。

新旧委員会が適格審査した者	24,675
適格と判定された者	24,493
不適格と判定された者	183
10月に適格審査された者	306
適格と判断された者	305
不適格と判断された者	1

m. トライアウト中学校

(1) 愛知県における 24 地区に内各地区ごとに 1 中学校区がトライアウトスクールとして暫定的に選択され、これらの学校の代表者たちのための会議が県職員によって設定されつつある。

2. 芸術・遺跡

a. CI&E 補佐官は名古屋の徳川美術館長と協力し、11月1日～20日、同館で開催される展示会を特別に占領軍に公開するための計画をつくった。第5空軍の特別軍務担当はこの展示会を広報し、美術館への（からの）送迎バスを調達するであろう。

3. 宗教

a. 寺社に関する SCAPIN448 未確認の不法行為が本課の注目の的となっている。問題が調査され、目下、特別に報告されている（10/28/47/・・・47/CIE/R/1）。

4. 情報

a. 農地改革

(1) 9月末に始まった農民聞き取り調査は県の全課は抜き打ち検査を受けるまで続行された。

(2) これらの聞き取りをもとに以下の結論が示された。

(a) 愛知県の 95%の農民は農地改革法の規定についてかなり十分な情報を得ている。

(b) 農地委員会はかなり十分に機能している。

(c) 県と市町村の職員による広報は十分に遂行されている。そして新聞、ラジオ、村の集会、及びポスターという手段で継続されつつある。

b. 民間情報の優先計画

(1) 広報キャンペーンを計画し、「民間情報の優先計画」を実施するために、愛知県の各部長との 3 時間にわたる会議が、10月29日、CI&E 事務局

で開かれた（1947年10月17日付第1軍指令）。

- (2) 同会議で合意された活動方針は以下の活動である。
 - (a) ラジオ、鉄道 of 拡声器、及び新聞の抜き打ち広告
 - (b) 社説
 - (c) 優先計画に関する個人と地域社会の予想を超えた達成の記事の広報
 - (d) 個人ないし地域社会の立場からの、法の不履行又は違法行為への関心と呼ぶ広報
 - (e) 社会教育課長のもとで、他の課長と協力して実施される広報計画—日本の教員、児童生徒、及び学生による論文、評語、及び週刊ラジオ報道を含む—
 - (f) 県の部課長はすべての広報資料を CI&E に提出しなければならない。
 - (g) CI&E は県の各課長にガイドブックを提供し、最高司令部より発し、CI&E を経由して配布される教材や資料を送付しなければならない。

c. 図書館

- (1) (日本人による) 公共図書館が春日井市に開設された。10月24日 CI&E 担当官はその開設式に出席し、「公共図書館の役割について」短い講話を行った。
- (2) 本課は地域視察計画に関するこの活動を含む日本の図書館の系統的な査察を始めた。こした調査はこれまで3度行われた。

d. 映画

- (1) 3つの映写機が本課によって受け入れられた。これは、軍政部の監督のもとで日本人に貸与するためのものである。
- (2) これらの機器を有効に使うために視覚教育と社会科の担当課のチーフとの3つの会議が開かれた。これらの職員は目下移動の折に映写機を保護するための金属製の運搬機を作らせている。(しかし、) 輸送の問題はまだ解決されていない。

e. 情報メディアの調査

愛知県における8月から始まった情報メディア調査は、57年8月16日付最高司令部第5軍指令57に表示された23項目にわたって実施され、10月中に完了した。

f. CI&E職員は最近名古屋に設置されたSCAP図書館への日本人の関心と呼びかけている。前者が後者のグループと接するときにはいつでもそうだが。

5. 他の CI&E 事項

a. 全体的な広報の試み

(1) 地方旅行について次のような多くの CI&E 活動を含む古都が計画されている。学校視察、農地改革と食糧確保情報、日本の図書館の視察、CI&E 読書室への訪問、地区学校視学官、地方の行政職員、青少年団隊及び婦人団体の代表者、公民館指導者、教員組合役員との会議、町村と市の（公民館）の視察等

(2) そのような旅行の最初は 10 月 14 日～16 日であり、その目的地は孤立した山村、富岡村であったが、そこへは電車及び徒歩で（狭い山道を 3 マイル）到達した。富岡村の学校長と教員、青少年団体の 5 人の指導者、村の職員、及び村の医者との会議を行った。

b. 建築物の調査

(1) CI&E は愛知軍政部の他の課と協力し、最近完成された建築物及び目下建設中の建畜物の調査を行った。8 つのそのような建築物が本課によって調査され、経済課に報告された。

c. 職員

10 月 10 日、ルエラ・ホスキンス (Luella Hoskins) 女史が、10 月 20 日、サーモン・ウルフ (Thurmon Wolf) 軍曹がそれぞれ CI&E に補佐官として配属され、2 名の事務官タイプの職員が急遽した。他の部署に異動した。

d. 訪問者

(1) 東海北陸軍政部の CI&E 担当官、マッケルハーニー (McElhaney) 氏が同課のコーディネル女史を軍政部事務教区の視察のため、10 月 23 日本課を訪問し、いくつかの助言を行った。

(2) 名古屋の金城学院の宣教師、スリマイス (Srymythe) 師が本部を訪問した。

e. 計画

(1) 6 か月、3 か月、及び 2 か月の当面の計画が本課によって作成され、そのコピーが情報として地方に送付された。10 月の、また 1 週間ごとの詳細な計画が作成された。

(2) これらの計画を遂行するには CI&E の職員が最低 50% の時間を地方で過ごさないとはいけない。

f. 半田読書室の参加者は、読書室から 30 冊の本が盗まれたと報告した。半田市長は、地元の警察は捜査中であるが、まだ本は見つかっていないと言っている。

[以上、GHQ/SCAP Records, Box No.2495, Sheet No. CAS(B)-01039、新海英行訳]

Report Control Symbol
MG-12

司令部
愛知軍政部
APO710 (名古屋、本州)

附属文書E

軍政活動報告
1947年11月30日までの期間

民間情報教育

1. 教育 :

a. 先月の間に、CI&Eは、愛知県で5校(5)の学校の定期視察を行なった。そして、27校(27)の他の学校を訪問した。

b. この県の中学校の地位を改善する努力として、CI&Eは一連の中学校長の会議を5回行ない、この県の267校の中学校の校長が出席した。

c. 23校(23)の中学校在トライアウトスクールとして選出されてきた。これらの学校の全てに訪問してきており、CI&Eの指導の下で愛知県行政の教育部と協力しながら、諸企画が始められつつある。

d. 成人教育

(1) 愛知県で合計446個の青少年団体が、青少年団体の1つの連絡協議会が組織されてきている。

(2) 青少年団体の中に急進的な指導者が出現しつつあるという趣旨の未確認の噂が存在してきている。CI&Eはこの動きを心配して注視しており、正しく指導されないと、ある強固な全国的青少年団体が将来の害悪の原因に (判読不能) なりかねないと信じつつある。

(3) 主に建物の欠如及び夜間利用のための電流の不足のせいで、この県では17館しか公民館が設置されてきていない。

学校長たちは、公民館のために校舎を利用するようにしきりに言われている。現在ほんの少しの学校長だけが彼らの学校の地域センターを作り始め

ている。

(4) 婦人事業

- (a) CI&E 副担当官は、その月の間に 4 つ (4) の婦人団体と話した。それらのうち最も重要なものは、“現代企画公開討論会 (Current Events Forum)” (下記、2. e 参照) であった。
- (b) CI&E は、11 月 5 日に SCAP 民間情報教育課のルル・ホームズ女史 (Miss Lulu Holmes) に招集された大学〔婦人〕協会 (婦人大学同窓生協会、東海支部) の会合に参加した。
- (c) 愛知県労働組合の婦人部の代表者との会議が、彼女たちの問題を彼女たちと一緒に討論するために、開催された。
- (d) この県には約 300 個の婦人団体がある。しかし、それらのほとんどは秋と春に 1 年に 2 度の総会を開いているだけである。担当官と委員会責任者の会合はたぶん月に 1 度である。CI&E は、一般会員の定期的な月例の会合及び執行委員会の週例の会合の重要性を指摘しつつある。

e. CI&E 担当官は、蒲郡で師範学校教員のための研究集会を援助することに 2 日間を費やした。

2. 情報

a. 11 月 12 日に、愛知県行政の 8 つ (8) の部の代表者は、それらのそれぞれの情報プログラムを総合的に討論するために CI&E と会合した。その時までは、5 つの部が、それらのそれぞれの固有のプログラムについて、独自に CI&E と打ち合わせしてきていた。

b. 軍政部によって起こされた反閩市運動を実施するために、広報という点で経済犯罪防止局と打ち合わせした。この広報の範囲は、11 月の QCIE CE (判読不能) 報告の中で手短かに述べられる。

c. CI&E は、軍政部及び県行政活動の新聞切抜きのスクラップブックを整備している。軍政部の課長たちは、この課に対してそれらの活動を報告するよう要求されてきており、日本の経路を通じて広げられない 一般的 (判読不能) の発表を提出するよう要求されてきている。

d. 学校視察旅行と学校訪問の間に、CI&E は校長や教員と教育課程を統一し調整するために米徴収を利用する方法を討論している。学校が、米徴収、農地改革及び反閩市運動を公表する方法と手段を研究することが示唆されてきている。

e. この課は、県行政の社会教育課と協力して、婦人団体のための“現代企画公開討論会 (Current Events Forum)”を始めた。最初の会合は、11 月 21 日に岡崎で開催され、

愛知県の西三河地区にある 106 団体から 251 人の代表者が出席した。

同様の会合は、12 月 12 日に豊橋で、12 月 19 日に一宮で、1948 年 1 月中に名古屋地域で計画されている。

これらの会合は、現代の社会的、経済的、教育的及び文化的問題を広報するよう予定されており、他の婦人集団からの報告を聞くよう予定されており、婦人団体が、市町村の、県の及び国の企画や運動を広報することに参加できる方法を示唆するよう予定されている。

f. 名古屋の CI&E 読書室は、SCAP 図書館が名古屋地域の日本人の要求に合致しているため、豊川に移設されてきた。

g. 県行政の公衆衛生課は、1947 年 10 月 25 日付、AS 135 BA 書簡に従って、有毒飲料取引統制の運動を公表した。すべての警察署、衛生事務所、医師会及び愛知県にある 21 個所の保健所に、法律やそれら自身の指令の複写を送った、という方法、すなわち 1947 年 10 月 15 日付、第 1 軍団司令部の操作覚書第 15 番の第 3 節参照の方法で、名古屋と主要な市のすべての新聞に、そして JOCK ラジオ局に、報道内容が送られた。放送は、10 月 30 日に 1 度、10 月 31 日に 2 度行なわれた。

3. 宗教

a. その月のうちに、2 つの寺院と 1 つの神社が視察された。

4. 他の民間情報教育の事項

a. 3 回の全範囲の旅行が先月中になされた(10 月の添付資料 E の第 4 節参照)。3 日間の 1 回の旅行と 4 日間の 1 回が、CI&E 担当官によってなされた。そこには、職員と 2 人の通訳者の協力を得た 1 人が同行した。第 3 回目の 4 日間の旅行がリストにあげられた人と通訳者によってなされた。後者は、広報、食堂、日本の図書館を調べた。

b. さらなる注目が、その県にある教員組合に対して注がれてきている。兆候は、2・3 の急進的な指導者を除いて、以前に報告された騒動が、ややおさまってきていることである。

c. この課による 20 個 (20) の学校給食プログラムの無作為抽出検査は、学校給食がよくバランスが取れて栄養がある一方で、調理場や用具は全く不衛生であることを暴露した。その問題は、活発な行動がこの状況を改善するために取られるという示唆によって、県職員の注目を喚起してきている。

d. この課は電池及び日本の学校への分配のために解放された青少年赤十字の供給物を検査した。これらの物が学校に届くかどうかをはっきりさせるために、無作為抽出検査がなされるであろう。

e. 以下の講義が、CI&E 職員によって先月中に行われた：

<u>聴衆の特徴</u>	<u>出席者数</u>
(1) 中学校校長 (5回の講義)	267人
(2) (名古屋) ショージ初等学校の教員と保護者	305人
(3) 名古屋英語学校の生徒	674人
(4) 西三河地区の婦人団体	251人
(5) 西区、児玉婦人協議会 (名古屋)	300人
(6) 矢田地区婦人協議会 (名古屋)	250人
(7) 小学校教員及び学校長	700人
(8) 山吹地区婦人協議会 (名古屋)	200人
(9) 英語教員協議会 (岡崎)	100人

[以上、GHQ/SCAP Records, Box No.2495 Sheet No. CAS(B)00987、大田高輝訳]